

管理サーバの IP アドレス(ホスト名)変更手順

対応バージョン

SSC2.1、SSC2.1 Update 1、SSC2.1 Update 2、SSC2.1 Update 3

概要

管理サーバのIPアドレス（ホスト名）の変更による影響、注意点について説明します。管理サーバのIPアドレス（ホスト名）を変更する場合は、以下を参照してSSCの各コンポーネントの設定変更を行ってください。

【管理サーバの IP アドレスを変更する前に】

管理サーバ for DPM または、DPM のデータベースを管理サーバにインストールしている場合、管理サーバの IP アドレスを変更する前に DPM の設定変更が必要になります。まず、【DeploymentManager での設定変更】を参照して、DPM の設定変更および管理サーバの IP アドレス変更を行ってください。その後、【SystemProvisioning での設定変更】～【ESMPRO/ServerManager, ServerAgent での設定】を参照して各コンポーネントの設定変更を行ってください。

【DeploymentManager での設定変更】

管理サーバ for DPM または、DPM のデータベースを管理サーバにインストールしている場合、以下の手順に従って設定変更してください。管理サーバ for DPM への接続には、IP アドレスを使用します。そのため、管理サーバのホスト名を変更する場合、DPM では設定の変更は必要ありません。

1. DPM に関する処理を終了してください。

注: 以下の処理がすべて終了していることを確認してください。

- ・シナリオ実行中ではないこと（シナリオを実行中の場合は、シナリオが完了するまで処理を行わないでください。）
 - ・DPM の各種ツール類を起動していないこと
-

2. 管理サーバに管理サーバ for DPM をインストールしていない場合は、手順 4 へ進んでください。
3. DPM の Web コンソールで [詳細設定] 画面の [全般] タブの [IP アドレス] を確認し「ANY」以外を選択している場合、[IP アドレス] の設定を「ANY」に変更してください。
4. 管理サーバの IP アドレスを変更します。
5. 管理サーバに DPM のデータベースをインストールしていない場合は、手順 11 へ進んでください。

6. 管理サーバ上で[スタート]メニュー - [ファイル名を指定して実行]を選択し、実行するプログラムの名前に「regedit」を入力して[OK] クリックしてください。

注: 管理サーバ for DPM を SSC の管理サーバ以外にインストールしている場合、手順 6-10 は管理サーバ for DPM をインストールしたマシンに管理者権限を持つユーザでログオンして行ってください。

7. レジストリエディタが起動されますので、以下のレジストリの「値のデータ」を確認してください。「127.0.0.1」が設定されている場合は、手順 11 へ進んでください。変更前の管理サーバの IP アドレスが設定されている場合は、変更後の管理サーバの IP アドレスに変更してください。

注: 管理サーバ for DPM と DPM のデータベースを同じサーバにインストールしている場合は、「値のデータ」に「127.0.0.1」を指定することができます。

·IA32 アーキテクチャマシンの場合: レジストリパス:

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\NEC\DeploymentManager

値の名前:DBSrvIPAddress

·EM64T アーキテクチャマシンの場合:

レジストリパス:

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Wow6432Node\NEC

\DeploymentManager

値の名前:DBSrvIPAddress

8. [スタート]メニュー - [コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス]から、以下のサービスを停止します。

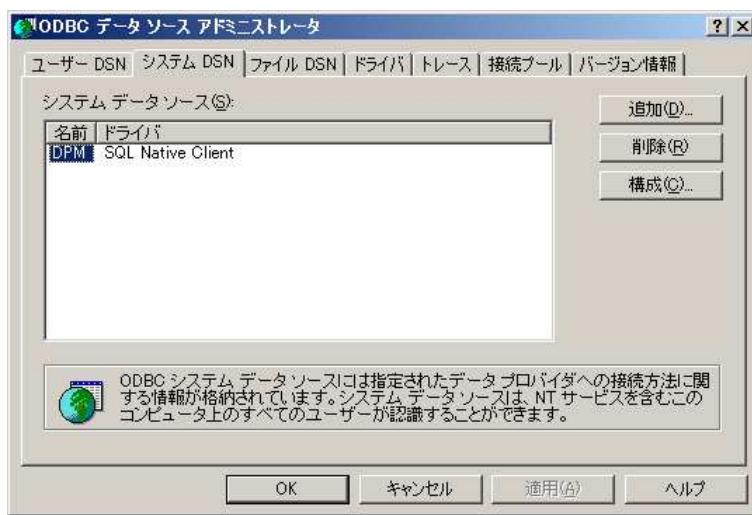
サービス名
DeploymentManager API Service
DeploymentManager Backup/Restore Management
DeploymentManager Client Management
DeploymentManager client start
DeploymentManager Get Client Information
DeploymentManager PXE Management
DeploymentManager PXE Mtftp
DeploymentManager Remote Update Service
DeploymentManager Scenario Management
DeploymentManager Schedule Management
DeploymentManager Transfer Management

9. 使用している OS のアーキテクチャに応じて、以下の操作を行ってください。

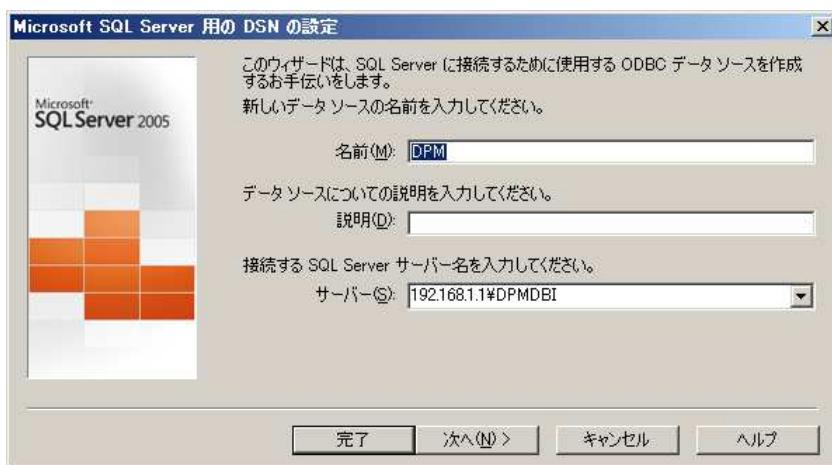
- IA32 アーキテクチャマシンの場合:[スタート]メニュー - [コントロールパネル] - [管理ツール] - [データソース(ODBC)]を選択します。
- EM64T アーキテクチャマシンの場合:[スタート]メニュー - [ファイル名を指定して実行] を選択して、実行するプログラムの名前に「%WINDIR%\SysWOW64\odbcad32.exe」を入力して、[OK]をクリックします。

10. ODBC データソース アドミニストレータが起動されますので、[システム DNS]タブを選択します。

[システム データソース]の一覧から[DPM]を選択して[構成]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されますので、[接続する SQL Server サーバー名を入力してください。]の[サーバー]で変更するデータベースサーバを選択後、IP アドレス部分を新しい管理サーバの IP アドレスに変更して[完了]ボタンをクリックし、その後に表示される[ODBC Microsoft SQL Server セットアップ]画面で[OK]をクリックしてください。



11. 管理サーバを再起動してください。

注: 管理サーバ for DPM を SSC の管理サーバ以外にインストールしている場合、管理サーバ for DPM をインストールしたマシンも再起動を行ってください。

12. 管理サーバに管理サーバ for DPM をインストールしていない場合は、設定完了です。

13. 管理サーバの再起動後、変更前の管理サーバの IP アドレスを使用して DPM の Web コンソールに管理サーバ for DPM を登録していた場合、IP アドレスを変更した管理サーバ for DPM を削除してください。

「127.0.0.1」を使用して DPM の Web コンソールに管理サーバ for DPM を登録していた場合、手順 15 へ進んでください。

14. 削除後、DPM の Web コンソールで変更した IP アドレスで管理サーバ for DPM を追加してください。

注: 管理サーバ for DPM を追加する際には、IP アドレス変更前と同じホスト名を指定してください。ホスト名は、大文字、小文字を区別します。ホスト名が変更されると、SigmaSystemCenter は別の管理サーバ for DPM であると判断するため、管理対象マシンを正しく認識することができなくなります。

15. DPM の Web コンソールで [詳細設定] 画面の [全般] タブの [IP アドレス] の設定を「ANY」に変更した場合は、必要に応じて管理サーバの IP アドレスを再設定してください。

16. DPM の Web コンソールから IP アドレスを変更した管理サーバに登録されているすべてのコンピュータに対してシャットダウン、またはリモートアップデートのシナリオ実行を行います。

[SystemProvisioning での設定変更]

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、SystemProvisioning では以下の設定が必要となります。ホスト名変更の場合は、IP アドレスをホスト名に読み替えてください。

◆ SystemProvisioning のサブシステムを管理サーバにインストールしている場合、サブシステムの設定を変更してください。

1. タイトルバーの [管理] をクリックし、[管理] ビューに切り替えます。
2. [管理] ツリーから [サブシステム] アイコンをクリックします。
3. [設定] アイコンをクリックします。メインウィンドウに「サブシステム編集」が表示されます。
4. IP アドレスを変更します
5. [OK] をクリックします。

[SystemMonitor 性能監視での設定]

SystemMonitor 性能監視管理コンソールに設定されている管理サーバや監視対象マシンのホスト名として IP アドレスが設定されている場合は、変更後の IP アドレスに設定変更を行う必要があります。以下の手順に従って変更してください。

関連情報: SystemMonitor 性能監視の操作手順の詳細は、「SystemMonitor 性能監視ユーザーズガイド」を参照してください。

◆ 管理コンソールの設定

SystemMonitor 性能監視管理コンソールの設定で、管理コンソールの情報のホスト名として管理サーバの IP アドレスで登録している場合は、設定変更を行ってください。

注: SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを利用していない場合は、設定変更は必要ありません。

1. メインメニューから [ツール] - [管理コンソール情報] を選択します。
2. [管理コンソール情報] ダイアログボックスの [ホスト名] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

◆ 管理サーバの接続設定

SystemMonitor 性能監視管理コンソールに登録されている管理サーバの IP アドレスが変更される場合は、管理サーバの設定を一旦削除し、変更後の IP アドレスで管理サーバを登録します。

1. メインウィンドウのツリー上で古い IP アドレスで登録されている管理サーバを右クリックし、[管理サーバ登録削除] を選択します。
2. メインメニューから [ツール] - [管理サーバの追加登録] を選択します。
3. [管理サーバ] ダイアログボックスが表示されますので、新しい IP アドレスを設定します。
4. [OK] をクリックします。

◆ SystemProvisioning の接続設定

SystemMonitor 性能監視に登録されている SystemProvisioning 管理サーバ名として、変更された管理サーバの IP アドレスを指定している場合、設定の変更が必要です。

注: SystemProvisioning 構成情報の反映機能や SystemProvisioning への性能異常通報機能を利用しない場合は、本指定は必要ありません。

1. メインウィンドウのツリー上で管理サーバを右クリックし、[環境設定] を選択します。
2. [環境設定] ダイアログボックスの [SystemProvisioning] タブの[SystemProvisioning 管理サーバ名] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

◆ サーバの接続設定

SystemMonitor 性能監視に登録されている監視対象マシンとして、管理サーバも登録している場合には、設定の変更が必要です。

1. メインウィンドウのツリー上でマシン名を右クリックし、[マシン設定] を選択します。
2. [マシン設定] ダイアログボックスが表示されますので、[マシン名] と [IP アドレス] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

[ESMPRO/ServerManager, ServerAgent での設定]

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、ESMPRO Manager では以下の設定が必要となります。以下の手順に従って変更してください。

◆ ESMPRO/ServerManager の設定変更項目

マネージャ間通信を使用している場合、IP アドレスを変更した管理サーバとマネージャ間通信を行っている、相手のマシン(隣接マネージャ)上に設定している IP アドレスを変更してください。

1. オペレーションウィンドウのメニューから [オプション] - [カスタマイズ] - [マネージャ間通信]を選択します。
2. マネージャ間通信画面の[隣接マネージャ]タグに設定されている接続先アドレスを新しいIP アドレスに変更します。

◆ ESMPRO/ServerAgent の設定変更項目

通報の送信設定(高信頼性通報)に管理サーバの IP アドレス / ホスト名を指定している場合、「2.6.1.Windows マシンから通報の送信設定を行うには」「マネージャ通報 (TCP/IP In Band)」を参照して、再設定してください。

注: ホスト名を指定している場合でも、本手順を実施し、新しいIP アドレスとホスト名を連携させます。

通報の送信設定(SNMP トラップ)の下記設定で管理サーバの IP アドレスを設定している場合、「SigmaSystemCenter 2.1 コンフィギュレーションガイド」の「Windows マシンから通報の送信設定を行うには」「SNMP Trap」を参照して再設定してください。

- ・ SNMP Trap 送信先にマシンの IP アドレスを指定している場合
- ・ SNMP Service のセキュリティ設定にて「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」にマシンの IP アドレスを指定している場合

◆ ESMPRO/ServerAgent (VMware) の設定変更

SNMP 通報手段を使用している場合は、「通報基本設定」画面の通報手段一覧から「マネージャ通報(SNMP)」を選択して表示される、「SNMP トラップ設定」画面にてトラップ送信先を変更してください。SNMP 通報手段以外を使用している場合は、

[通報先リストの設定] を選択して表示される「通報先リストの設定」画面にて通報先を変更してください。

注: 通報設定変更は、コントロールパネル (ESMamsadm) から行ってください。

<コントロールパネル (ESMamsadm) の起動方法>

1. root 権限のあるユーザでログインします。
2. ESMPRO/ServerAgent がインストールされているディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

3. ESMamsadm が格納されているディレクトリに移動します。

```
# cd bin
```

4. コントロールパネル (ESMamsadm) を起動します。

```
# ./ESMamsadm
```

5. 以下のファイルにて、snmpd に対して IP アドレスによるアクセス制限を行っている場合は、IP アドレス変更などの設定変更をします。

```
/etc/snmp/snmpd.conf
```

```
/etc/hosts.allow, hosts.deny
```

作成日:2010.12.22